

園だより

第 3 号

2018年5月31日



ばんけい幼稚園

絵本が子どもの心を育てる

村田 希

帰りの時間の絵本や、バスの中での紙芝居を子どもたちは毎日楽しみにしています。ご家庭ではどのようにお子さんに絵本を読み聞かせていますか？就寝前、お子さんが『読んで』と絵本を持って来たとき、病院等の待合室で等、様々だと思います。緑組、青組は絵本貸し出しが始まっているのでお子さんが借りてきた本を一緒にということも多いと思います。実際借りる時には、お部屋で読んでもらった本をもう一度家でも見たい・・・お兄ちゃんが〇〇〇の本を借りてきてって言ったから・・・弟妹がいる子は一緒に見られるように・・・図鑑や迷路を一人でじっくりと見たい・・・という理由で選ぶこともあるかもしれません。何より、家庭での読み聞かせは自分のためだけに目や心を向けてもらい、大好きな人の声を聞きながら同じ時間を共有する、この心地よさと嬉しさは子どもにとって何にも代えがたいものです。テレビ、DVD、スマホ等から少し離れお子さんと一緒に絵本に触れる時間も大切にしてもらいたいと思います。

子どもたちは、話の内容を楽しむだけではなく自ら感じた事を様々な形で表現したり、遊んだりします。なぜ、こんなにも絵本や物語を楽しむことができるのでしょうか・・・その楽しみは子どもたちの育ちにどのような影響を与えているのでしょうか・・・それに対して大人はどのように絵本や物語を選んで読んでいけばよいのでしょうか・・・

～幼稚園で、子どもたちに絵本を読むときには～

- ◎成長と発達を捉えて絵本を選ぶ
- ◎色や絵、言葉の音や響きリズムが楽しいもの
- ◎季節に合わせたものや、行事に関する絵本を選ぶ
- ◎こうなったら楽しいかな、この年齢ならこういった姿が見られていくかな、という事を予測してイメージや遊びに繋がりやすいものを選ぶ
- ◎子どもたちがより親しみを持って楽しめるよう、生活していく中で身近なものを選ぶ

友だちとの関わり方、優しさ、悲しさ、美しさ等絵本から多くの事が学べると思います。もしも自分が主人公だったら・・・という視点からものを考え感じることで想像したり、イメージを広げたりしてより豊かな感受性も生まれることでしょう。

子ども時代によい絵本、物語に出会い、友だちと共有、共感しながら想像し楽しんだ日々は、子ども達の中でこれから生きていくための大きな糧になることでしょう。今まであまり絵本を読み聞かせた事がなかったという方は、お子さんと一緒にお気に入りの絵本を見つけるのもいいかもしれませんね。